

News Release

2014年2月13日
A I G 富士生命保険株式会社

平成25年度第3四半期業績のお知らせ

A I G 富士生命保険株式会社（代表取締役社長兼CEO 友野 紀夫）の平成25年度第3四半期の業績をお知らせいたします。

なお、金額は記載単位未満の端数を切り捨てており、諸比率は四捨五入によって表示しています。

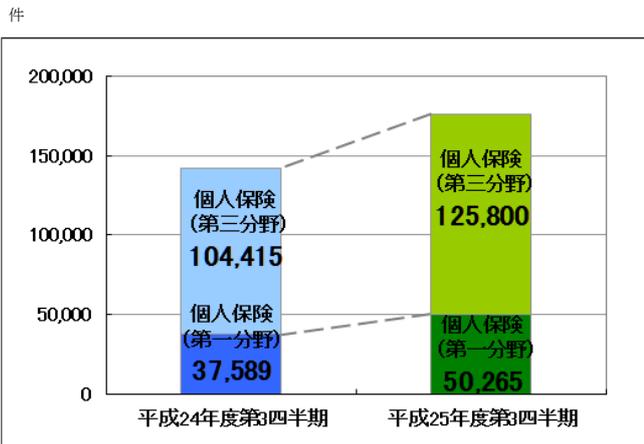
決算のトピックス

1. 新契約件数

新契約件数は、前年同期の142,004件から176,065件へ24.0%増加しました。

176,065件の内訳 第三分野 125,800件
第一分野 50,265件

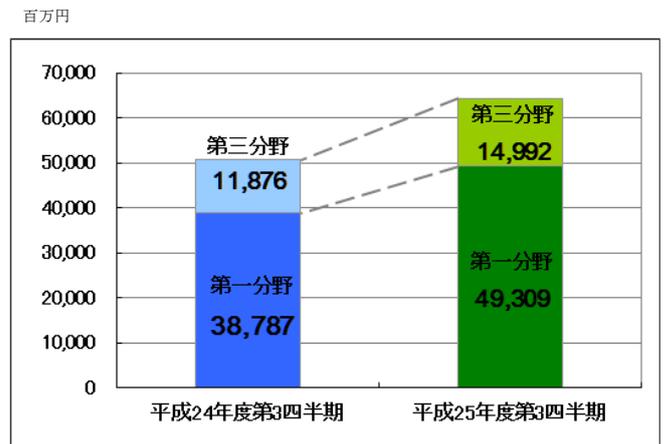
<新契約件数>



2. 保険料収入

がん保険を中心とした第三分野は前年同期の11,876百万円から14,992百万円へと26.2%増加しました。第一分野は、前年同期の38,787百万円から49,309百万円へと27.1%増加しました。

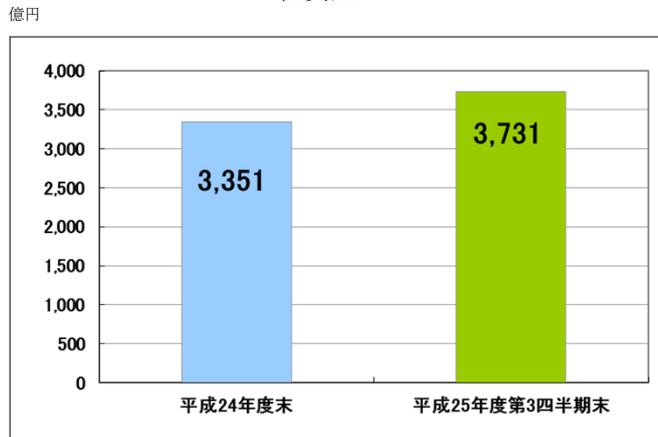
<保険料収入>



3. 総資産

総資産は3,731億円で、前年度末比11.4%増加しました。

<総資産>



4. 純損失

がん保険および低解約返戻金型終身保険を中心に保険料収入が増加しましたが、それに対応する責任準備金繰入額等が増加したことや代理店手数料が拡大したことに伴い事業費が増加し、純損失は5,339百万円となりました。

5. ソルベンシー・マージン比率

2013年12月27日に、財務基盤の強化を図るため、3,000百万円の増資を実施しました。ソルベンシー・マージン比率は874.3%と十分な水準を維持しています。

平成25年度第3四半期報告

A I G 富士生命保険株式会社（代表取締役社長兼CEO 友野紀夫）の平成25年度第3四半期（4月1日～12月31日）の業績は添付のとおりです。

<目次>

1. 主要業績	……1頁
2. 資産運用の実績（一般勘定）	……3頁
3. 四半期貸借対照表	……5頁
4. 四半期損益計算書	……6頁
5. 経常利益等の明細（基礎利益）	……8頁
6. ソルベンシー・マージン比率	……9頁
7. 特別勘定の状況	……10頁
8. 保険会社及びその子会社等の状況	……10頁

以上

1. 主要業績

(1) 保有契約高及び新契約高

・保有契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	平成24年度末		平成25年度 第3四半期会計期間末			
	件 数	金 額	件 数	金 額		
				前年度 末比	前年度 末比	
個 人 保 険	618	21,967	774	125.3	24,009	109.3
個人年金保険	9	476	9	97.2	448	94.2
団 体 保 険	—	2,149	—	—	2,127	98.9
団体年金保険	—	—	—	—	—	—

(注) 個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資と年金支払開始後契約の責任準備金を合計したものです。

・新契約高

(単位：千件、億円、%)

区 分	平成24年度 第3四半期累計期間				平成25年度 第3四半期累計期間					
	件 数	金 額			件 数	金 額				
		新契約	転換による 純増加			前年 同期比	前年 同期比	新契約	転換による 純増加	
個 人 保 険	142	2,698	2,698	—	176	124.0	3,085	114.3	3,085	—
個人年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
団 体 保 険	—	32	32	—	—	—	55	172.0	55	—
団体年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 件数は、新契約に転換後契約を加えた数値です。

(2) 年換算保険料

・保有契約

(単位：百万円、%)

区 分	平成24年度末	平成25年度 第3四半期 会計期間末	
			前年度 末比
個人保険	50,093	57,063	113.9
個人年金保険	3,258	3,114	95.6
合 計	53,351	60,177	112.8
うち医療保障・ 生前給付保障等	17,586	21,275	121.0

・新契約

(単位：百万円、%)

区 分	平成24年度 第3四半期累計期間	平成25年度 第3四半期累計期間	
			前年 同期比
個人保険	7,742	9,552	123.4
個人年金保険	—	—	—
合 計	7,742	9,552	123.4
うち医療保障・ 生前給付保障等	3,981	4,374	109.9

- (注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額です（一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額）。
2. 「医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付（入院給付、手術給付等）、生前給付保障給付（特定疾病給付、介護給付等）、保険料払込免除給付（障害を事由とするものは除く。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含む）等に該当する部分の年換算保険料を計上しています。

2. 資産運用の実績（一般勘定）

（1）資産の構成

（単位：百万円、％）

区 分	平成24年度末		平成25年度 第3四半期会計期間末	
	金額	占率	金額	占率
現預金・コールローン	3,745	1.1	3,217	0.9
買現先勘定	-	-	-	-
債券貸借取引支払保証金	-	-	-	-
買入金銭債権	-	-	-	-
商品有価証券	-	-	-	-
金銭の信託	-	-	-	-
有価証券	308,524	92.1	344,714	92.4
公 社 債	290,498	86.7	277,320	74.3
株 式	2,364	0.7	933	0.3
外 国 証 券	11,893	3.5	60,495	16.2
公 社 債	11,893	3.5	60,495	16.2
株 式 等	-	-	-	-
その他の証券	3,768	1.1	5,964	1.6
貸付金	12,077	3.6	12,237	3.3
不動産	82	0.0	93	0.0
繰延税金資産	-	-	-	-
その他	10,717	3.2	12,929	3.5
貸倒引当金	△0	△0.0	△1	△0.0
合 計	335,147	100.0	373,190	100.0
うち外貨建資産	3,669	1.1	32,520	8.7

（注）不動産については土地・建物・建設仮勘定を合計した金額を計上しております。

(2) 有価証券の時価情報 (売買目的有価証券以外の有価証券のうち時価のあるもの)

(単位：百万円)

区 分	平成24年度末					平成25年度 第3四半期会計期間末				
	帳簿価額	時 価	差 損 益			帳簿価額	時 価	差 損 益		
			差益	差損	差益			差損		
満期保有目的の債券	147,128	166,165	19,036	19,036	—	158,073	173,776	15,703	16,057	354
責任準備金対応債券	39,181	41,317	2,135	2,135	—	52,387	53,497	1,110	1,156	46
子会社・関連会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の有価証券	113,559	122,068	8,509	8,677	167	128,294	134,174	5,879	6,900	1,020
公 社 債	97,367	104,187	6,820	6,921	101	81,129	86,652	5,523	5,653	129
株 式	1,624	2,219	594	622	27	585	854	268	268	—
外 国 証 券	11,869	11,893	23	60	37	41,438	40,702	△736	139	876
公 社 債	11,869	11,893	23	60	37	41,438	40,702	△736	139	876
株 式 等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の証券	2,697	3,768	1,071	1,073	1	5,140	5,964	823	838	14
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	299,869	329,552	29,682	29,850	167	338,755	361,449	22,693	24,114	1,421
公 社 債	283,677	311,670	27,992	28,093	101	271,797	294,496	22,698	22,828	129
株 式	1,624	2,219	594	622	27	585	854	268	268	—
外 国 証 券	11,869	11,893	23	60	37	61,231	60,133	△1,098	178	1,276
公 社 債	11,869	11,893	23	60	37	61,231	60,133	△1,098	178	1,276
株 式 等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の証券	2,697	3,768	1,071	1,073	1	5,140	5,964	823	838	14
買入金銭債権	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。

2. 「金銭の信託」については該当ありません。

- ・時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券の帳簿価額は以下のとおりです。

(単位：百万円)

区 分	平成24年度末	平成25年度 第3四半期会計期間末
満期保有目的の債券	—	—
非上場外国債券	—	—
そ の 他	—	—
責任準備金対応債券	—	—
子会社・関連会社株式	—	—
その他の有価証券	144	78
非上場国内株式 (店頭売買株式を除く)	144	78
非上場外国株式 (店頭売買株式を除く)	—	—
非上場外国債券	—	—
その他	—	—
合 計	144	78

(3) 金銭の信託の時価情報

該当ありません。

3. 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	期 別	平成24年度末 要約貸借対照表 (平成25年3月31日現在)	平成25年度 第3四半期会計期間末 (平成25年12月31日現在)
		金 額	金 額
(資 産 の 部)			
現 金 及 び 預 貯 金		3,745	3,217
有 価 証 券		308,524	344,714
(うち国債)	(273,913)	(262,804)
(うち社債)	(16,584)	(14,515)
(うち株式)	(2,364)	(933)
(うち外国証券)	(11,893)	(60,495)
貸 付 金		12,077	12,237
保 険 約 款 貸 付		12,068	12,228
一 般 貸 付		9	8
有 形 固 定 資 産		180	259
無 形 固 定 資 産		385	596
代 理 店 貸 付		2	1
再 保 険 貸 付		4,006	4,454
そ の 他 資 産		6,224	7,711
貸 倒 引 当 金		△ 0	△ 1
資 産 の 部 合 計		335,147	373,190
(負 債 の 部)			
保 険 契 約 準 備 金		314,991	356,697
支 払 備 金		1,999	1,942
責 任 準 備 金		312,458	354,177
契 約 者 配 当 準 備 金		533	578
代 理 店 借 付		1,490	1,405
再 保 険 借 付		454	231
そ の 他 負 債		2,673	4,205
未 払 法 人 税 等		25	5
リ ー ス 債 務		—	71
資 産 除 去 債 務		45	62
そ の 他 の 負 債		2,602	4,065
退 職 給 付 引 当 金		5	—
役 員 退 職 慰 労 引 当 金		25	36
価 格 変 動 準 備 金		440	516
繰 延 税 金 負 債		2,597	1,778
負 債 の 部 合 計		322,677	364,872
(純 資 産 の 部)			
資 本 金		11,500	13,000
資 本 剰 余 金		1,500	3,000
資 本 準 備 金		1,500	3,000
利 益 剰 余 金	△	6,442	△11,782
そ の 他 利 益 剰 余 金	△	6,442	△11,782
繰 越 利 益 剰 余 金	△	6,442	△11,782
株 主 資 本 合 計		6,557	4,217
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金		5,912	4,101
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計		5,912	4,101
純 資 産 の 部 合 計		12,470	8,318
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計		335,147	373,190

4. 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	平成24年度	平成25年度
		第3四半期累計期間 〔平成24年4月1日から 平成24年12月31日まで〕	第3四半期累計期間 〔平成25年4月1日から 平成25年12月31日まで〕
		金 額	金 額
経 常 収 益		56,936	78,417
保 険 料 等 収 入		51,723	72,139
（うち保険料）	（	50,664）	（ 64,301）
資 産 運 用 収 益		4,817	6,068
（うち利息及び配当金等収入）	（	3,962）	（ 4,702）
（うち有価証券売却益）	（	853）	（ 1,280）
（うち金融派生商品収益）	（	—）	（ 85）
そ の 他 経 常 収 益		394	210
（うち支払備金戻入額）	（	239）	（ 56）
経 常 費 用		60,545	83,374
保 険 金 等 支 払 金		17,862	23,481
（うち保険金）	（	3,320）	（ 3,489）
（うち年金）	（	336）	（ 494）
（うち給付金）	（	2,296）	（ 3,000）
（うち解約返戻金）	（	9,024）	（ 8,258）
（うちその他返戻金）	（	392）	（ 617）
責 任 準 備 金 等 繰 入 額		28,283	41,719
責 任 準 備 金 繰 入 額		28,283	41,718
契 約 者 配 当 金 積 立 利 息 繰 入 額		0	0
資 産 運 用 費 用		238	156
（うち支払利息）	（	1）	（ 1）
（うち有価証券売却損）	（	—）	（ 53）
（うち有価証券評価損）	（	237）	（ 77）
事 業 費		13,578	17,414
そ の 他 経 常 費 用		581	602
経 常 損 失		3,609	4,956
特 別 損 失		52	78
固 定 資 産 等 処 分 損		3	2
価 格 変 動 準 備 金 繰 入 額		48	76
契 約 者 配 当 準 備 金 繰 入 額		257	263
税 引 前 四 半 期 純 損 失		3,919	5,299
法 人 税 及 び 住 民 税		14	40
法 人 税 等 合 計		14	40
四 半 期 純 損 失		3,933	5,339

注記事項

(四半期貸借対照表関係及び株主資本等変動計算書関係)

平成25年度第3四半期会計期間末	
1. 簡便的な会計処理	
繰延税金資産の回収可能性の判断については、一時差異の発生状況について前年度末から大幅な変動がないと認められるため、同年度末の検討において使用した将来の業績予測及びタックス・プランニングの結果を適用しております。	
2. 契約者配当準備金の異動状況は次のとおりであります。	
イ. 当期首現在高	533 百万円
ロ. 当第3四半期累計期間契約者配当金支払額	219 百万円
ハ. 利息による増加等	0 百万円
ニ. 契約者配当準備金繰入額	263 百万円
ホ. 当第3四半期会計期間末現在高	578 百万円
3. 株主資本の金額の著しい変動	
当社は、平成25年12月27日付けで、富士火災海上保険株式会社から株主割当増資の払い込みを受けました。この結果、当第3四半期累計期間において資本金が1,500百万円、資本準備金が1,500百万円増加し、当第3四半期会計期間末において、資本金が13,000百万円、資本準備金が3,000百万円となっております。	
4. 金額は、記載単位未満を切り捨てて表示しております。	

注記事項

(四半期損益計算書関係)

平成25年度第3四半期累計期間	
1. 1株当たり四半期純損失の金額は20,451円63銭であります。なお、潜在株式はありません。	
2. 金額は、記載単位未満を切り捨てて表示しております。	

5. 経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

	平成24年度 第3四半期累計期間	平成25年度 第3四半期累計期間
基礎利益 A	△4,152	△5,895
キャピタル収益	853	1,365
金銭の信託運用益	—	—
売買目的有価証券運用益	—	—
有価証券売却益	853	1,280
金融派生商品収益	—	85
為替差益	—	—
その他キャピタル収益	—	—
キャピタル費用	237	151
金銭の信託運用損	—	—
売買目的有価証券運用損	—	—
有価証券売却損	—	53
有価証券評価損	237	77
金融派生商品費用	—	—
為替差損	0	20
その他キャピタル費用	—	—
キャピタル損益 B	616	1,214
キャピタル損益含み基礎利益 A+B	△3,536	△4,681
臨時収益	1	—
再保険収入	—	—
危険準備金戻入額	—	—
個別貸倒引当金戻入額	1	—
その他臨時収益	—	—
臨時費用	74	275
再保険料	—	—
危険準備金繰入額	74	274
個別貸倒引当金繰入額	—	1
特定海外債権引当勘定繰入額	—	—
貸付金償却	—	—
その他臨時費用	—	—
臨時損益 C	△72	△275
経常利益 A+B+C	△3,609	△4,956

6. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項目	平成24年度末	平成25年度 第3四半期 会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	26,661	20,350
資本金等	6,557	4,235
価格変動準備金	440	516
危険準備金	2,503	2,777
一般貸倒引当金	-	-
その他有価証券の評価差額×90% (マイナスの場合100%)	7,658	5,291
土地の含み損益×85% (マイナスの場合100%)	-	-
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	22,673	28,056
負債性資本調達手段等	-	-
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	△ 13,172	△ 20,526
控除項目	-	-
その他	-	-
リスクの合計額		
$\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)	4,253	4,655
保険リスク相当額 R1	1,183	1,263
第三分野保険の保険リスク相当額 R8	514	672
予定利率リスク相当額 R2	408	420
資産運用リスク相当額 R3	3,313	3,615
最低保証リスク相当額 R7	-	-
経営管理リスク相当額 R4	162	179
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,253.5%	874.3%

(注) 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条、第161条、第162条、第190条、及び平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しています。

(参考) 実質資産負債差額

(単位：百万円)

項 目	平成24年度末	平成25年度 第3四半期 会計期間末
資産の部に計上されるべき金額の合計額 (1)	356,320	390,004
負債の部に計上されるべき金額の合計額を基礎として計算した金額 (2)	294,462	331,743
実質資産負債差額A (1) - (2) = (3)	61,857	58,261
満期保有目的の債券・責任準備金対応債券の含み損益 (4)	21,172	16,813
実質資産負債差額B (3) - (4)	40,684	41,447

- (注) 1. 「実質資産負債差額A」は、実質資産負債差額の算出方法を定めた保険業法第132条第2項に規定する区分等を定める命令第3条および平成11年金融監督庁・大蔵省告示第2号の規定に基づき算出しています。
2. 「実質資産負債差額B」は、「実質資産負債差額A」から満期保有目的の債券および責任準備金対応債券の時価評価額と帳簿価額の差額を控除したものであり、上記1.の規定に加え保険会社向けの総合的な監督指針Ⅱ-2-2-6に基づき算出しています。
- なお、満期保有目的の債券および責任準備金対応債券の残高は4ページに記載しています。

7. 特別勘定の状況

該当ありません。

8. 保険会社及びその子会社等の状況

該当ありません。